



診療連携モデル事業について

令和6年1月12日

神奈川県健康医療局保健医療部がん・疾病対策課

目次

- 1 モデル事業の概要について
- 2 実施に向けての準備について
- 3 今後のスケジュールについて
- 4 参考予算について

1 モデル事業の概要について

(1) 概要

- ・ 県内の糖尿病性腎症以外を原疾患とする新規透析導入患者数は近年増加している
- ・ 今後は糖尿病性腎症以外の慢性腎臓病の疑いのある方について早期発見、早期受診につなげる仕組みが必要
- ・ そこで、糖尿病性腎症重症化対策事業に腎硬化症のリスク要因である「高血圧」を要件として加えることで実施
- ・ 市町村ヘルスアップ事業予算の活用を検討
- ・ 細かい部分は各地域の実状に応じて、取り組みやすいように進めてもらう

1 モデル事業の概要について

(2) 紹介基準のイメージ（糖尿病性腎症重症化予防との比較）

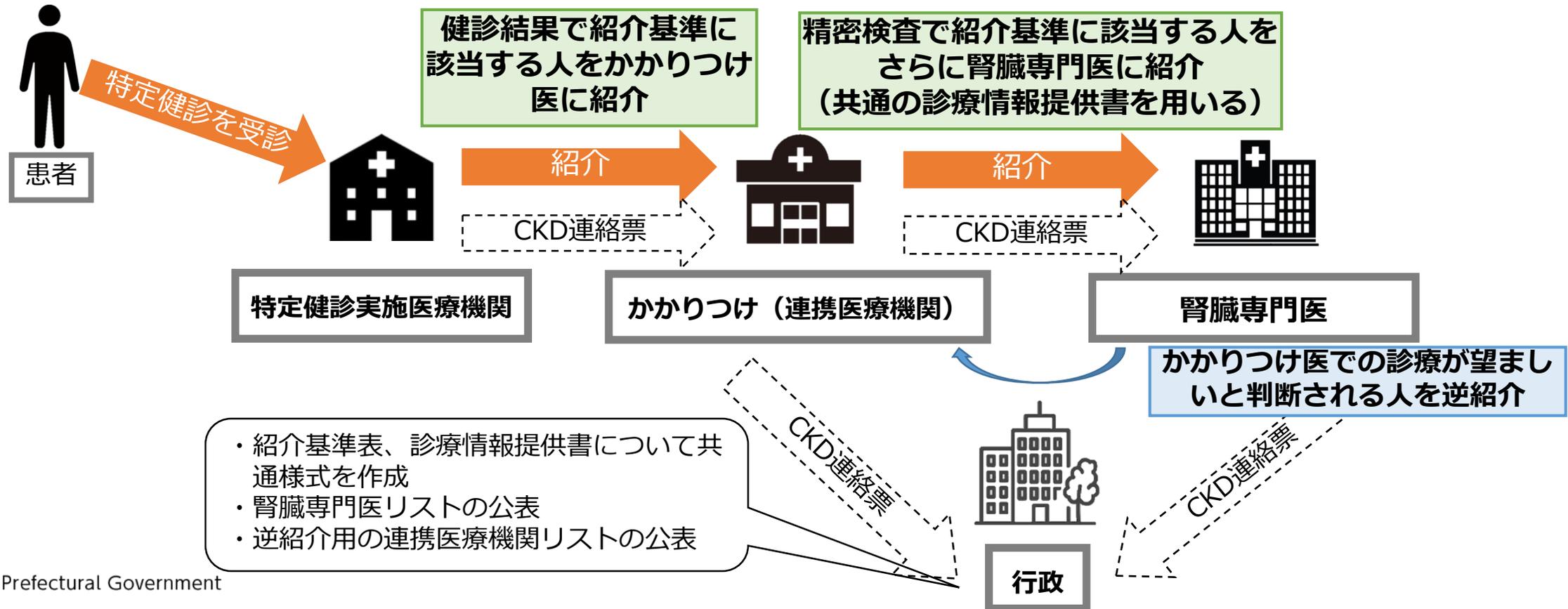
特定健診の結果から紹介基準に該当する人をおかかりつけ医（連携医療機関）に紹介



1 モデル事業の概要について

(3) CKD診療連携体制のイメージ図

- ①特定健診の結果から紹介基準に該当する人をおかかりつけ（連携医療機関）に紹介。
- ②かかりつけ（連携医療機関）からさらに紹介基準に該当する人を腎臓専門医に紹介。
- ③場合によっては腎臓専門医からかかりつけ（連携医療機関）に逆紹介



2 実施に向けての準備について

(1) 関係団体との調整

- ・候補市町村所管の郡市医師会に協力を打診

(2) 会議体の設置

- ・モデル事業を実施する市町村、郡市医師会、腎臓専門医で地域協議会を立ち上げ
- ・もし可能であれば、他保険者にも、この仕組みに参加してもらうことを打診
- ・協議会での検討を経て、モデル事業スタート

(3) 紹介基準の決定

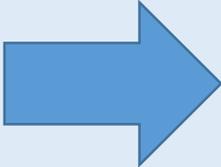
- ・日本腎臓病協会の紹介基準を基に、地域協議会で議論して、紹介基準を決定

(4) 診療情報提供書の決定

- ・様式のひな形を県から情報提供し、地域協議会で議論して決定

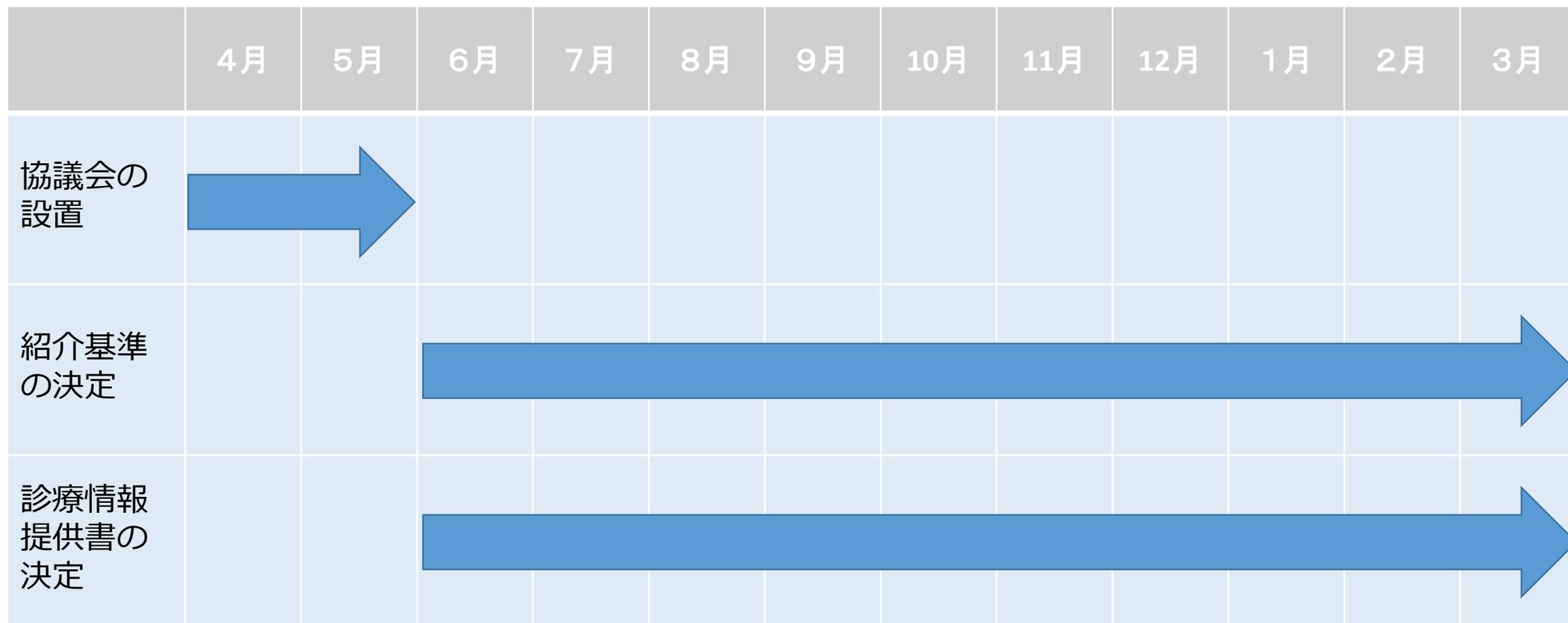
3 今後のスケジュールについて（令和7年度実施の場合）

（1）令和5年度

	1月	2月	3月
候補市町村向け説明会 【1月12日】			
地域の専門医（キーパーソン）と 市町村顔合わせ 【2月頃】			
郡市医師会を含めた調整 【3月頃】			

3 今後のスケジュールについて（令和7年度実施の場合）

（2）令和6年度



4 予算の参考について

- 横須賀市 ※神奈川県が想定する流れと横須賀市の病診連携の流れは異なるため内訳も変わります

	内訳
需用費	<ul style="list-style-type: none">・CKD精密検査結果連絡票 (CKD病診連携システムの対象者の情報を特定健診実施機関、腎臓専門医、横須賀市で共有するための連絡票)・CKD対象者への案内チラシ (腎臓専門医を受診する際に必要なものや腎臓専門医療機関リストが記載されている)・診療情報提供書(特定健診実施機関から腎臓専門医への紹介状として用いるもの) リーフレット
役務費	<ul style="list-style-type: none">・CKD精密検査結果連絡票レターパック・CKD精密検査結果連絡票健診機関送付料・CKD精密検査結果連絡手数料
委託料	<ul style="list-style-type: none">・(特定健診実施機関への)CKD判定及び紹介状作成委託料 (特定健診結果説明時にCKD判定結果を説明することも含む)

以上です。